

📌 第67回健康食品講座 研修会報告 📌

日 時	2026年10月4日(日) 10:00～13:10
場 所	神戸薬科大学 地域連携サテライトセンター
テ ー マ	患者が動く服薬指導のために ー栄養教育の視点から学ぶ「聞き方・伝え方」講座ー
講 師	甲南女子大学 医療栄養学部 教授 浅田 憲彦 先生
健康食品領域 研修項目	大項目Ⅲ 健康食品購入・利用時の助言・指導 (薬剤師健康食品実践塾)
受講者数	7名
認定単位	1.5単位

講 師

甲南女子大学 医療栄養学部
教授 浅田 憲彦 先生



2～3名のグループに分かれ、健康食品の相談に関わる薬剤師に求められることや、相談を受けた際に薬剤師としてどのように応えるかを、ワークシートを使ったロールプレイングを交えながら学びました。

【研修風景】



アンケート(抜粋)

- ◆意識できていない“行動”についてもいろいろご説明いただきましてありがとうございました。うまく書けませんが、いろいろ気づきがありました。
- ◆患者さんの行動変容を促すには伝え方が重要であることを学びました。
 - ①まず相手の考えや気持ちを受け止める。
 - ②伝えることを「1メッセージ+1行動」に絞る。
 - ③一緒に次の一步を決め、伝わったかを確認める。共同意志決定を会話に盛り込めるよう、意識して伝え方を組み立てようと思いました。
- ◆行動経済学、学びになりました。
ロールプレイも入れてくださり、さらに勉強になりました。
- ◆健康食品は病人にすすめるべきではないという考え方は医療者側に根強くあるが、栄養指導は尊重されている。医療の現場でも安心、安全、有効な健康食品を摂取できるように、薬剤師としての役目が果たせればよいと思う。
- ◆栄養指導の知識と経験がよくわかりました。

ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。



神戸薬科大学
Kobe Pharmaceutical University



神戸薬科大学
エクステンションセンター